

- 1 蛩吸つて肺の一晩のみ明るし
- 2 飛行船過ぎてまなこを涼しうす
- 3 一人称くるくる変はる日焼の子
- 4 炎昼で満たされてゐる写真集
- 5 金魚玉落ちさう頸椎に触れる
- 6 夏蝶をひらけば遺跡こぼれだす
- 7 ブラインドひらりと黒白に眩暈
- 8 くさかげろふ注射刺されるとき見ない
- 9 逢はば殺さむ白玉を嚙んでゐる
- 10 刺青のかがやいてゐる夏座敷
- 11 夕立の一瞬たれも死に絶へる
- 12 めざめれば咽喉に金魚の居た気配
- 13 秘密云ふ西日に部屋を閉ぢ込めて
- 14 ともだちを抱くこともある夏の果
- 15 うたふとき夾竹桃が洩れてくる
- 16 天の川かの運命をえらびたる
- 17 永き夜の姉の鱗のかぐはしく
- 18 本日の稼ぎおほかたが秋果
- 19 観ることの漸近線や猫じやらし
- 20 距離感の異なつてゆく秋の虹
- 21 桐の実が脳内で鳴るやうな光るやうな
- 22 痛覚をひとひら容れて水澄みぬ
- 23 境目にゐて野遊びに呼ばれけり
- 24 胡桃触るなじむほどふたしかな手
- 25 冬菊に骨のやうなるきよらかさ

- 26 こほる夜にこはれぬやうに眼をひらく――
- 27 あいさるることの歪みや冬苺――
- 28 ひかりひかり雪晴にぼくらは音符――
- 29 やすらかや毛布に名前付けてみて――
- 30 白鳥に首たはめたる力あり――
- 31 たれからも等しき距離や百合鷗――
- 32 あかるさや冬の音楽室の椅子――
- 33 寒晴や生活力のない男――
- 34 素粒子のさらさら欠けて冬堇――
- 35 夕暮れにわづかな圧やミモザふる――
- 36 細胞のびびと殖ゑたる余寒かな――
- 37 春愁や箱に無数の映画満ち――
- 38 底辺と呼ばれてたんぽぽと笑ふ――
- 39 たんぽぽの首長く罰受けやすし――
- 40 雲雀ひだまり永遠にフリーター――
- 41 ぜんまいに魔法を籠めてゐるところ――
- 42 臓腑ひとつ欠けて浮きさう春の暮――
- 43 植物のやうにひとびと鏡騒――
- 44 罇に刻まれるまでひらくなり――
- 45 頭蓋骨置きこでまりといふ仮説――
- 46 鳥雲に入りたましひのすり替はる――
- 47 転生や軽さをえらびつばくらめ――
- 48 めくるたびちがふ陽炎立ちにけり――
- 49 性別の異なつてゆく雪解かな――
- 50 ストッキングやぶれつばなし春の花――

- 51 めざめても人の妻なりヒヤシンス
- 52 さへづりに結ばれてゐる言葉たち
- 53 真夜中やふらここのある喫茶店
- 54 ひとつづつちがふ地獄や春の雨
- 55 深夜ぜんまいするすると伸びまた縮む
- 56 桃の日の息とめるほど近いこと
- 57 素顔とかはらはらこぼし春の花
- 58 リラ冷えや人妻と居るとき少女
- 59 在るものは奪ふよ花凶鑑ひらく
- 60 きさらぎのサロメに授けられし皿
- 61 問ひ詰められてパンジーが溢れさう
- 62 春の雲すこし活字を含みたる
- 63 倫理観なくてあかるい桜冷
- 64 道に穴無限にひらく花の雨
- 65 離婚のちひとのかるやか花なづな
- 66 夏近し砂漠が好きといふ女
- 67 背を割いて夏に生まれるワンピース
- 68 藻の花や乳歯ほろりと落としてゆく
- 69 凝(こご)るとき虹含みたる黴の玉
- 70 窓はさみだれ火傷のやうに影おちて
- 71 呼ばればほどけてゆける涼しさよ
- 72 紫陽花の首ふたつ置き境界線
- 73 夏雲や臆あきらかにして立ちぬ
- 74 片耳にピアス無数や夏痩せて
- 75 はつなつのひかりに滲みだす音符

- 76 短夜に指輪煮られてゐたりけり――
- 77 乱歩忌や脳細胞がたりと嗤ふ――
- 78 手を引いてくぐる踏切夏の星――
- 79 蛾はらはら昏きかたちとして発ちぬ――
- 80 惑星の動きを賭ける夜店かな――
- 81 ひなげしの中を金星まであるく――
- 82 一面のひまはりに背かれてをる――
- 83 小鳥来て文脈揺らぎはじめたる――
- 84 月夜茸浮いて来るほど眼をきつく――
- 85 木犀や罪やはらかに降り積もる――
- 86 眼の合つてしまふ兎や連れかへる――
- 87 ほほゑんでをらねばくるし草の花――
- 88 コスモスがコスモスが咲き過ぎてゐる――
- 89 見られたり月下眼医の看板に――
- 90 なめらかな稲妻を匿つてやる――
- 91 はつふゆのワルツ影までのびやかに――
- 92 めくるほどからだなめらか鎌鼬――
- 93 冬林檎君を肋骨より生みまし――
- 94 水仙の一寸眼にして法師なり――
- 95 冬菫抱けばあざやかにこはれ――
- 96 金網に分解されて春の街――
- 97 ランドルト環欠けてつややか風光る――
- 98 恋すんで長き余生や桜餅――
- 99 映画観るやう人生をみて日永――
- 100 妖精の嘔吐や桜蕊ふりぬ――